

核兵器のない世界、非核平和の日本、核被害の根絶をめざして

被災58年2012年 3・1ビキニデー集会に参加を！



国連総会の議場入口に設置された
3メートルの署名ツインタワー

世界の政治、経済などのアジア・太平洋の比重の高まりとともに、いま、日本とアジア・太平洋の反核平和運動が連帯し、非核平和の声を強めていくことがますます重要になっています。

この間の国連審議では、2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議での前進の上に、核兵器禁止条約への具体的進展を求める声はさらに大きく広がり、2012年春からの次のNPT再検討プロセスに向かって新たな決意が生まれています。また、一部の国の核保有を黙認する二重基準を打破する中東非核兵器地帯会議の計画も、4月、フィンランドでの開催へと大きく動きだしています。

秋の国連総会でも強調されたように、この流れを核兵器全面禁止へと結実させていくのは世界の運動と市民社会の役割です。2012年3・1ビキニデーは、そのための全国的な行動の出発点です。

原水協全国集会のテーマは「核兵器のない世界、非核平和の日本、核被害の根絶をめざして」です。全国の知恵と経験を出し



合い、本格的な地域ぐるみの署名の発展、「核の傘」や普天間基地問題、TPP交渉など、国民無視・アメリカ言いなりの危険な政治の転換と非核平和の日本、被爆者援護・連帯、原発ゼロ・放射能被害の根絶めざす運動との連帯、地域原水協作りなど、新たな決意を固めあいます。

その意義にふさわしい広範で大規模な代表派遣の取り組みをただちに開始しましょう。